

Scarborough Fair

Mutsumi Hatano & Yasuji Ohagi



スカボローフェアーギターと歌の楽しみー 波多野睦美 & 大萩康司

ローズ スカボローフェア 7つのスペイン民謡 ダウランド キューバの子守歌 guitar solo

熊本

9月15日(火)

19:00開演(18:30開場)

ラフカディオホール

主催: 銀羊・舎

広島

9月21日(月祝)

14:00開演(13:30開場)

広島県民文化センター ホール

主催: オフィス・ソネット

大分

9月23日(水祝) 14:00開演(13:30開場)

ichiko 音の泉ホール

主催: オフィス・ソネット大分 共催: ichiko 総合文化センター

後援: 大分合同新聞社、CBS大分放送、TOSテレ大分、OAB大分朝日放送、

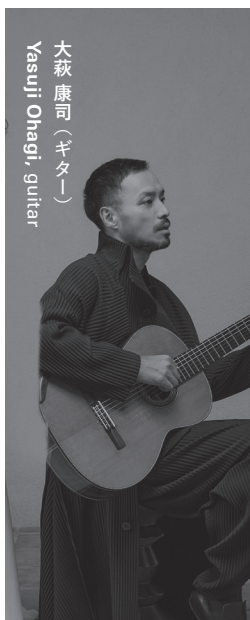
JCOM大分ケーブルテレコム、エフエム大分、月刊・シティ情報おおい

波多野 睦美 (メゾソプラノ)
Mitsumi Hatano, mezzo soprano



英国ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。イギリス・ルネサンスのリュートソング、バロックの宗教作品、受難曲、オラトリオのソリストなど古楽の分野で活動を開始。寺神戸亮、鈴木雅明、C.ホグウッド指揮他の多くのバロックオーケストラと共演。オペラではモンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」皇后オッターヴィア、パーセル「ダイドーとエネアス」女王ダイドーなどを演じる。現代の音楽では、間宮芳生作品のアメリカでの世界初演、オペラ「ポポイ」、サイトウキネンフェスティバル武満徹メモリアルコンサート、水戸芸術館「高橋悠治の肖像」、サントリーホール「作曲家の個展2013権代敦彦」他に出演。2005年から「歌曲の変容」と題したシリーズを王子ホールで行い、古楽から現代にいたるボーダーレスなプログラムを開拓し続けている。放送では「NHKニューイヤーオペラコンサート」「BSクラシック倶楽部」「題名のない音楽会」「おんがく交差点」等に出演。古楽器との共演による「イタリア歌曲集」「悲しみよとどまれ」など数多くの名盤の他、高橋悠治（作曲／ピアノ）とのソングブック「ねむれない夜」、シューベルト「冬の旅」、栃尾克樹（バリトン・サクソフォーン）とのトリオによる「風ぐるま」、大萩康司（ギター）との「コーリング・ユー」「プラテロとわたし」（朗読／歌）、北村聡（バンドネオン）との「想いの届く日」などCD作品多数。詩画集「プラテロとわたし」（銅版画：山本容子）がある。

大萩 康司 (ギター)
Yasuji Ohagi, guitar



パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。1998年ハバナ国際ギター・コンクール第2位、併せて審査員特別賞「レオ・ブローウェル賞」受賞。その後イタリアのキジアーナ音楽院でオスカー・ギリシアに師事し、4年連続最優秀ディプロマを取得。ギターを萩原博、中野義久、福田進一、キャレル・アルムス、アルベルト・ボンゼ、オリヴィエ・シャッサンに、ソルフェージュを山田順之介、リュート、テオルボ、バロック・ギターをエリック・ペロックに、室内楽をラスコ・アダディに師事。近年では2019年に井上道義指揮/NHK交響楽団と《ランフェス協奏曲》を演奏し好評を博したほか、ラ・フォル・ジュルネ TOKYO、セイジ・オザワ松本フェスティバル、霧島国際音楽祭、宮崎国際音楽祭等の代表的な音楽祭に定期的に招かれている。NHK「ららら♪クラシック」「クラシック倶楽部」、MBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアへの出演多数。第6回ホテルオークラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。現在、洗足学園音楽大学、大阪音楽大学各客員教授。デビュー以来、20枚を越えるCD、2枚のDVDをリリース。2020年にはC=テデスコの傑作「プラテロとわたし」全28曲を波多野睦美の朗読で録音。使用楽器：SO KIMISHIMA Model SOL 2022年

音の産地

ギタリスト大萩康司さんと波多野の共通点は、ともに「九州産」であること。

大萩さんは10代の終わりににはもう

宮崎を離れパリ在住でしたが、

波多野はロンドン留学の15カ月を除けば、

28歳まで大分が宮崎に住んでいました。

人と人が共に仕事をする時、

まったく異なるバックグラウンドを持つことは、

良い方向に働くことが多いようです。

しかし彼と共演を重ねる中で気づくのは、

郷愁とも言えるような、

ある感覚の共有です。

大萩さんの音には、

九州の空港に降り立った時に感じる

南の空気感があります。

海や川、山とつながった音。

今回のツアーでは

長年ふたりで積み重ねてきた

レパートリーの中から、

いま一番共演したいものを、

みなさまと共に味わいたいと思います。

2026年初夏 波多野睦美

プログラム

- スカボローフェア (イギリス民謡)
- ローズ (映画音楽)
- 7つのスペイン民謡 (ファリャ)
- さあもう一度愛が呼んでいる (ダウランド)
- キューバの子守歌 (ブローウェル) ほか

CD〈時_Die Zeit〉批評
(2026年1月レコード芸術特選)

矢澤 孝樹 (音楽評論)

波多野睦美はますます自由になる。もはやこの稀有な歌い手は、声種で定義できず、特定のレパートリーや時代にも結びつけられない。「歌手」という言葉さえどこか職業的に響き、やはり「歌い手」という呼び方がこの自由な音楽家にふさわしい。一切の力みなく、呼吸そのものとなって音符に生命を吹き込んで行く波多野の歌は、さまざまな時代様式をその身体に溶かし込み、各作曲家の生きた「時」と「場所」を十分に意識させつつ波多野のものでしかない今という「時」の歌となる。大萩のギターが繰り広げる多彩なサウンドスケープが、波多野の歌をより高く飛翔させる。

山野 雄大 (ライター／音楽・舞踊評論)

波多野睦美の歌唱と大萩康司のギター、そのデュオが生む親密で風通しの良さ、その微風の温かさにも薫る音楽の豊穣を(爽やかに!)満喫できる、秀逸なアルバムだ。波多野睦美のつくる訳詞のしなやかさ—そこに響く優しい余韻と、言葉の芯にあるリズムの美しさとの共鳴は、その詩はもちろん、歌への共感をより深めてくれるものだと思う。

熊本

9月15日(火) [19:00開演 (18:30開場)]
ラフカディオホール (熊本市：紅蘭亭下通本店6F)
—
前売：5,500円 (要予約 & 事前精算)
※当日500円UP
※120席限定 ※小学生からご入場いただけます
—
主催 & お問合せ：銀羊・舎 (岩村)
096-201-4270 / ginyosha@gmail.com

チケット取扱：銀羊・舎 / 熊日プレイガイド
発売開始日：6月4日(木)
※銀羊・舎にてCD〈時_Die Zeit〉販売中

広島

9月21日(月祝) [14:00開演 (13:30開場)]
広島県民文化センター ホール
(広島市中区大手町1丁目5-3)
—
全自由席
一般前売：3000円
25歳以下：2000円 (当日500円UP)
※小学生からご入場いただけます
—

主催 & お問合せ：オフィス・ソネット
090-7505-1382 (ひの)
hm.hiroshima623@gmail.com

チケット取扱：チケットぴあ
Pコード：323252
発売開始日：5月28日(木)

大分

9月23日(水祝) [14:00開演 (13:30開場)]
iichiko 音の泉ホール (大分市高砂町2-33)
主催：オフィス・ソネット大分
—
前売指定席：4000円
前売自由席：3000円
25歳以下：2000円 (取扱はトキハ会館のみ)
※当日500円UP
※小学生からご入場いただけます
—

チケット取扱：トキハ会館、エトウ南海堂、
iichiko 総合文化センター 4階窓口
発売開始日：5月28日(木)

—
イープラス eplus.jp (WEB / アプリ)
受付開始日：5月28日(木)
https://eplus.jp/sf/detail/4514520001-P0030001

—
お問合せ & チケット取扱：
オフィス・ソネット大分 090-9206-8362
office.sonnet.oita@gmail.com
発売開始日：5月28日(木)



波多野睦美 公式サイト



Instagram



Facebook